

情報学科目（情報学科目群）

全学共通科目の情報学科目は、科目選択の目安となるよう「基礎」と「各論」に分類されています。

基礎に分類される科目としては以下の科目を設定しています。

情報基礎（クラス指定科目ならびに全学向）

この科目は情報科学・情報技術についての教養科目です。大学卒業後、社会に貢献していく上での素養となるような、情報科学や情報通信技術の基礎をなす理論・概念（例えば計算と論理に関わる理論や暗号技術に関わる諸概念）に関する知識や、現時点で社会に大きな影響を与えている新技術などの先進的な話題に関する知識を学びます。

情報基礎演習（クラス指定科目ならびに全学向）

この科目は共通教育としての情報活用能力を身に着ける科目です。すべての学生にとって、学士課程における学修や社会的活動、並びに卒業後に大学院や社会における知的活動に際して必要となる情報探索、情報分析、及び情報の表現・視覚化などの情報利活用の能力（これらを情報リテラシーと呼ぶ）と、その前提となる情報機器の操作能力（これらをコンピュータリテラシーと呼ぶ）を修得することを目的としています。また、現代社会において情報の収集や発信を行う際に守るべき社会的ルールに関する知識についても併せて修得します。

情報と社会

この科目は情報と社会の関わりについて学ぶ教養科目です。現代社会における情報と情報技術の利用に関連する諸問題に関する知識を獲得し、また、それらについて自ら考える機会を持ちます。

情報基礎、情報基礎演習については、学部、学科などを単位にクラス指定して実施されるものと、全学向として実施されるものがあります。クラス指定されている学部・学科に所属する学生の皆さんは、卒業に必要な単位の要件などを確認して、その科目を履修するようにしてください。

また情報を専門として学ぶ工学部情報学科の学生向けに「情報基礎実践」が開講されています。これらに相当する内容について英語で開講されている科目も提供されています。

各論に分類される科目では先の「基礎」科目に関連した内容について特定的话题を取り上げてより深く学ぶ科目や、様々な分野で実際に利用されるプログラミングやグラフィックス、データ分析などを演習・実習形式で学ぶ科目を提供しています。